とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1420
施設名	本郷ちとせ保育園
施設所在地	文京区本郷6-16-3
法人名	社会福祉法人ちとせ交友会

１．活動のテーマ

＜テーマ＞

絵画（デジタルアート）

＜テーマの設定理由＞

デジタルハリウッド大学によるデジタルアート制作のワークショップを体験した子どもたちが、タブレットやパソコンを用いてのお絵描き活動に興味を持ち、その活動を引き続きさまざまな角度から取り組み、深めていくことにした。
これまで主に絵の具やマーカー、色えんぴつ類で絵画活動を経験してきた子どもたちだったが、タブレットやパソコンといった新たなツールを使っての活動を通して、新しいスキルの獲得や新しい世界での感性がさらに広がり、豊かになっていくことを期待した。

２．活動スケジュール

令和６年８月　デジタルハリウッド大学によるワークショップ開催
令和７年１月～３月　デジタルアート制作活動

３．活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・タブレット機器やパソコン
・デジカメや電子黒板

４．探究活動の実践

＜活動の内容＞

活動内容①
デジタルハリウッド大学の教授や研究員の方々を迎え、子どもたちとタブレットに触れながら操作を学ぶワークショップの機会を持つ。

活動内容②
タブレットやパソコン機器を使って自由に絵を描いたり、タブレットのカメラ機能を使って自由に写真の撮影をする活動を楽しむ。それらの出来上がった作品を大きなスクリーンに映し、一緒に振り返りながらお互いの作品を称え合う場を持つ。

＜活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり＞

ワークショップでは、子どもたちはタブレットの前に座ると嬉しそうに目を輝かせ、使い方を習いながら器用に指先を動かし、「船に乗っているママだよ」「これかっこいいクワガタ」「きのうの雨」など、想像を子どもたちなりに自由に膨らませながら、好きなものを自由に描いていた。

タブレット上での、自由な色選びや筆質選び、描いたり消したりすることが自在にできるなど、デジタルの世界ならではのさまざまな選択肢に、子どもたちは思考を巧みに巡らせながら指先を動かし、絵画制作を楽しんでいる様子であった。タブレットの扱いに慣れている子は、「手伝ってあげるよ！」と率先してまわりのお友だちに手を差し伸べる姿もたくさん見受けられた。

大画面に映し出される自分たちの作品を見る機会では、「わぁ！すごい！」など、たくさんの笑顔と喜びの声を聞くことができた。

５．振り返り

最初はもしかしたら難しいのではと心配もした機器を使ってのデジタルの絵画制作活動であったが、機器の扱いにすでにいろいろ精通している子どもたちもいれば、たとえ初めてであっても、まわりのお友だちからの手助けで、どんどん描き方を覚えては、それをさらに自分のアイデアで作品を深めていくなど、順応でたくましい子どもたちの姿をたくさん見ることができた。新しいスキルをまた一つ覚え、より自信に満ちた笑顔にも見れた。
計画では撮影した写真にもデジタルアートを描き重ねてみる試みも行う予定だったが、今回は写真撮影を自由に楽しむことまでに留めておき、それはまた今後の機会で子どもたちと一緒に試みてみたいと考えている。